

## 大阪大学経営協議会（平成28年度 第4回）議事要旨

日 時 平成29年3月24日（金）10時02分～12時42分

場 所 大阪大学中之島センター 9階会議室1・2

出席者 西尾総長（議長）

井上、大石、尾崎、鈴木、津賀、土屋、友野、鳥井、野路、村尾、CASSIM、米田、三成、小林、八木、小川、山中、吉川、工藤、鬼澤、堂目、河原、澤、有川 各委員

欠席者 井野瀬、佐藤 各委員

議事に先立ち、西尾議長より会議開催に必要な定足数を満たしている旨の報告があった。  
なお、前回（11月7日開催）の議事要旨については、既に各委員に照会し、内容を確定して本学ホームページに公表済みである旨の報告があった。

### 議 事

#### 【議事】

#### 1 総長参与及び総長特命補佐の指名について

西尾議長から、平成29年4月からの総長参与及び総長特命補佐について、配付資料のとおり指名したことの報告があった。

#### 2 第2期中期目標期間の教育研究評価に係る評価結果（案）について

三成委員から、配付資料に基づき、第2期中期目標期間の教育研究評価に係る評価結果（案）について報告があり、今回の評価結果（案）に対し、意見申立てを行ったことの説明があった。

#### 3 中期目標の変更について

三成委員から、配付資料に基づき、レーザーエネルギー学研究センターの改組に伴う中期目標の変更について説明があり、審議の結果、これを承認した。

#### 4 平成29年度大阪大学年度計画（案）について

三成委員から、配付資料に基づき、平成29年度の年度計画の策定について説明があり、審議の結果、これを承認した。

#### 5 平成29年度政府予算案の伝達について

三成委員から、配付資料に基づき、平成29年度政府予算案の概要について報告があった。

## 6 平成29年度当初予算（案）について

小川委員から、配付資料に基づき、本学の予算編成方針案、平成29年度予算配分基本方針案、平成29年度収入支出予算案等について説明があり、審議の結果、これを承認した。

なお、学外委員より以下のような意見があった。

- ・18歳人口が減少する一方、高齢者が増加して社会保障費がより必要になっていく中で、教育機関として予算の充実が必要だと訴えていくためには、その理由をもう少し明確にするべきである。
- ・平成16年の国立大学法人化以降、毎年のように運営費交付金が減っており、もう限界のように思う。外部資金も期間限定的な資金であり、若い人の身分が不安定になることにつながるため、やはり一般運営費交付金による支えの重要性を国立大学協会のような組織と国立大学が連携して、もっと声を大にして訴えていくべきではないか。また、お金の面も大事だが、若い人が将来に対して夢や意欲を持てるような教育をすることも大事である。
- ・産学連携をさらに促進させていくことは賛成だが、産業界と関わりの深い領域と文化的な領域とは切り分けることができるのか。企業側からすれば、文化のためにやる部分と自分たちの産業の将来のためにやる部分が最低でも切り分けることができないと、支援をするための説明が難しい。
- ・国全体の研究開発予算は経済産業省等いくつかの省庁に配分されているが、この予算について、省庁ごとの縦割りではなく、全体の予算の中でもう少し大学に回すことの議論をしていってはどうか。日本は若い人達にお金が回るようにするべきであり、そういったことに大学がもっと声を上げていかないと大きな動きにならない。

## 7 教職員の給与等について

鬼澤委員から、配付資料に基づき、組織整備等に伴う、医師等調整手当の支給対象となる職の追加、任期付特任教員等基本年俸表の適用対象の拡大及び管理職の範囲等の改正について説明があり、審議の結果、これを承認した。

## 8 医学部附属病院再開発事業について

吉川委員から、配付資料に基づき、医学部附属病院における再開発事業の概要について説明があった。

なお、学外委員より以下のような意見があった。

- ・この再開発を基盤にして、どのように医療を提供していくのかを考えるべきである。メディカルイノベーター達が高齢化社会に対して最先端の医療を提供する際に、日本も高齢化社会だが、新興国の中でも急速に高齢化している国がいくつかあり、そこにはマスマーケットがあるため、そういった国々への展開も視野に入れていってはどうか。具体的な事業に取り組むことで、大阪大学医学部附属病院に国際性という新たな側面が、こ

れから伸びるマーケットに関連付く形で付加できるのではないか。

9 前回のご意見に対する取組状況について

西尾議長から、配付資料に基づき、前回の本協議会で学外委員からいただいた意見や助言に対する取組状況について報告があった。

10 指定国立大学について

西尾議長から、配付資料に基づき、指定国立大学法人制度への申請に係る調書案について説明があり、審議の結果、これを承認した。

なお、学外委員より以下のような意見があった。

- ・年々予算が減少していく中で生き残るための方策は、基盤的な研究を育て続けることができるかどうかである。そのためには外部資金の獲得が必要であり、産学連携が重要である。点と点の産学連携ではなく、組織対組織の産学連携を強化し、外部資金を獲得していくことで、この構想の戦略を一つ一つ実現していくことができるのではないか。
- ・ベンチャーキャピタル株式会社の仕組みをもっと大胆に使い、大学の素晴らしい基礎研究の成果をビジネス化して利益を大学に還元するような仕組みの構築や、社会にインパクトを与えるような取組を実施してはどうか。大阪大学発のベンチャー企業を質・量共に高めていくような、大胆な方向性をもっと充実させていく必要がある。
- ・若手研究者に、欧米の有力大学と比べても大阪大学に行きたいと思わせるような魅力を作る必要がある。京都大学の iPS 細胞研究所に匹敵するのは大阪大学の免疫学フロンティア研究センターなのだろうが、こういうものを一つや二つではなく複数作ってほしい。

【その他】

1 経営協議会委員の交替について

本協議会学内委員のうち、3月31日をもって退任となる河原委員及び澤委員から挨拶があり、併せて、西尾議長から、後任について配付資料のとおり指名したことの報告があった。

2 第12回大阪大学ホームカミングデイの開催について

工藤委員から、配付資料に基づき、第12回大阪大学ホームカミングデイへの参加案内があった。

(以 上)